

職場でピースウェーブ

みんなで繋げた
平和への想い
(4面)

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<https://www.zenkouro.org/>

これから
の働き方
を変える
日本看護協会と懇談

2面

おいし〜い 拡大女性部会議
地元の自慢をお届け



三重



茨城



福島



福島・フルーツが人気のケーキ

7月16日、全厚労女性委員会はオンラインで拡大女性部会議を開催。学習講演では、医労連女性協・川上真理さんに「権利を知って 働き続けられる職場をつくろう」についてお話いただきました。

各県女性部からは、これまでの活動の報告や地元のスイーツ・特産品を紹介し、コロナ禍で集まれないながら他県の活動や雰囲気を知ることができました。また各県で用意したお土産を景品に、厚生連のあるご当地に関する問題や女性の権利についてのクイズで交流しました。(詳細2面)

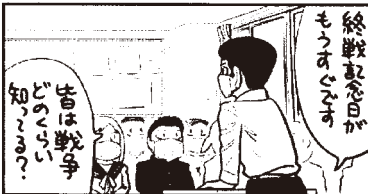


(上)秋田は金萬・(下)高知は地酒とカツオを紹介



女性がいそいそ働ける職場を目指して！参加者でピース

さう門福来る？ カクイシ ジュンスケ



1年ぶりに日本看護協会と懇談 働き続けたい職場を共に



Zoomで日本看護協会看護労働課の担当者（上中央）と懇談しました

7月13日、全厚労は第3回看護委員会をwebで開催し、職場の実態改善に向けた取り組みへの議論と、日本看護協会との懇談を行いました。委員会は、急遽コロナ対応が入った職場もあり、普段より若干少ない13県19名の参加で行いました。

午前中には活動総括と各県の職場状況を出し合いました。多くのところがコロナ対応で一般病棟から人手が取られ、夜勤日数が増え、業務が煩雑化し、疲弊が進んでいることや、新人教育にもこれまでより時間が取られ、時間外労働も増えていること等が報告されました。

10月の幹・看集会はWEB学習会として

10月の幹部・看護師集会はWEB併用型で準備していましたが、十分なリアル参加が見込まれないことや、現場看護師としては集会が普段行けないような場所、実際に他県の仲間と会って意見交流やリフレッシュできることが魅力という意見も受けて、「完全実施」できるまで延期という意見も出されました。しかし、「知って知らせる組織する」看護委員会の活動として、WEB学習会を実施することにしました。

午後から約1時間、日本看護協会労働政策部の担当者2名と懇談しました。この間、講師等でお世話になっている奥村氏と、看護労働課長の小村（おむら）氏にご参加いただきました。

定着対策こそ 離職防止に

「知りたいこと」として出された、①看護師の賃金はどうか？②生み出される？診療報酬の仕組みと中身、③地域医療構想推進で看護師はどうなる？そもそも地域医療構想って？、④世界の看護師たちが立ち上がって処遇改善しているってホント？、等の疑問・質問をそれぞれの専門家に聞いてみるという企画は、全厚労本体で学ぶ必要がある内容だということで、看護委員会主催ではなく、全厚労として開催をお願いすることになりました。

とが必要。労働団体の団結を強めて欲しい」と労働組合への叱咤激励も。確保対策については、「働き続けられる職場であれば潜在化しない。2008年くらいから確保対策は定着対策であるとしたが、改めて先行事例を集めて紹介している」と説明されました。

秋田・中村さんから「プラチナナース」について、「公務員の65歳定年延長も決定したが、60歳を越えて夜勤も今まで通りにはできないが、どう考えているのか」との質問に、「呼び方も検討中であるが、既に働く看護師の9人に1人が、60歳以上という統計がある。体力や健康状態に合わせた緩めの働き方の好事例を小冊子で出そうという計画がある」と話されました。

また夜勤のハードルについて、協会のアンケート結果で、「どういう条件があるか」という条件がある。奥村氏からは、「配偶者の理解・協力が一番目。それから夜勤回数が少なければ戻れる、が多い。また子どもへの対応等、急な夜勤の変更にも対応してもらえ、などがあった。もしものリリーフ要員が準備されていれば安心できる」等の課題が話されました。

ラダー研修について、「ラダーはそれぞれの組織が目指す人材育成のためのもの。当然、研修教育の時間は労働時間であり、管理者研修やHPでも情報提供していただく必要がある。労働団体の団結を強めて欲しい」と労働組合への叱咤激励も。確保対策については、「働き続けられる職場であれば潜在化しない。2008年くらいから確保対策は定着対策であるとしたが、改めて先行事例を集めて紹介している」と説明されました。

とが必要。労働団体の団結を強めて欲しい」と労働組合への叱咤激励も。確保対策については、「働き続けられる職場であれば潜在化しない。2008年くらいから確保対策は定着対策であるとしたが、改めて先行事例を集めて紹介している」と説明されました。

る。是非、協会ニュースの働くルールコラムも見ても「いたい」と強調されました。最後に広島尾道病院から、

「当院では、育児中の方など週3日勤務を実施し、非常に好評で、看護協会でも取材し、紹介して欲しい」と要請し懇談を終えました。

☆看護協会との懇談内容の詳細はHPをチェック



職場の未来を語り合う

オンライン拡大女性部会議

いきいき働き続けられる職場を

男性の育児とやすく

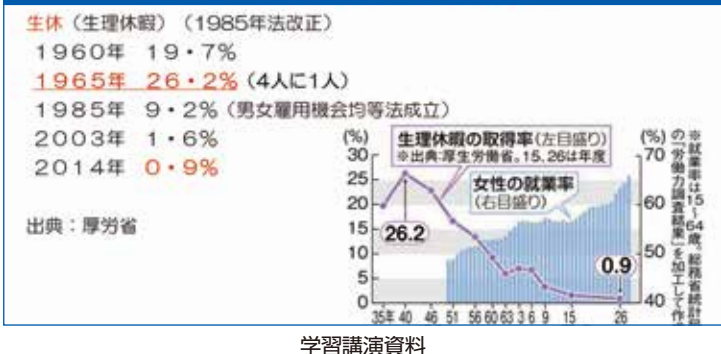
学習講演では、各県女性部にも広く協力頂いた全労連女性部の「女性労働者の労働実態および男女平等・健康実態調査」の結果や、新装版となった「女性の権利ノート」も使ってお話しいただきました。

今年6月に国会で成立した「改正育児・介護休業法」についても触れられ、男性の育児取得が進まない現状から、男性版「産休制度」の創設や、育児休業が2回まで分割取得可能になるなど新制度のポイントを紹介されました。

と話され、集まって話すことで多くの気づきや意見が生まれました。

閉会あいさつで中村悟中央副委員長は「権利は自分を守るための武器だと思っています。公務員の定年延長が決まり、いよいよ定年が先延ばしになってくるなかで職場のみんなが長く健康に働くために、権利を知らせて、私たちが取得することによって、職場の雰囲気を変えていってほしい」と呼びかけました。

右肩下がりの生理休暇取得率



頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第165回は新潟と広島をお願いします。



新潟 田中美奈子さん

新潟で看護委員長を務める田中美奈子さん（保健師）を紹介します。大ベテランの前看護委員長の後を受けての着任となりました。

田中さんは、本部看護委員長1年目ですが、看護・介護職場の現状を少しでも改善させたいという強い責任感と意思を感じ、厚生連労組全体で、その思いを共有し、さまざまな取り組みを行っています。

他の医療労働組合と同様に新厚労でも看護に関わる問題の解決は、いつの時代も最重要課題です。ニッパチ闘争のよう

な大きな波は作れなくても、小さな波が、やがて大きな波となるように新潟から看護・介護職場の改善が前進するように看護委員長を中心に組合全体で、全厚労のみなさんと共に頑張ります。

広島県西部に位置し、宮島を望む廿日市市にあるJA広島総合病院の救急外来で看護師として働いています。

このたび広厚労の皆様のご協力のもとで、広島支部を立ち上げることができました。従業員のために闘ってくれる組合があることで、安心して一つの病院で長く働くことができるとしてもらえよう活動をしていきたいと思っています。この病院を選んだ私たちのそれぞれの思いを大切に、ご指導を頂きながら精一杯頑張っていきます。



読者の声
最近夢の中でも仕事をしていたり、大好きなデイズニーに行っている夢をみます。早くコロナが収束して旅行に行けるようになればいいなあ。（秋田）
仕事での忙しさ、ストレスを発散する機会がコロナで奪われ最悪です。自分や経済の為に、早く旅行や飲み会ができる日が戻ってほしいですね。（KU）
「看護は自己犠牲じゃない」に共感しました。本当にそうです。オリンピックのこと信じられません。（富山）

東京に緊急事態宣言が発令されても開催しようとするオリンピック！国民を守れない政治家なんて必要ない!!（OG）
長くて続くコロナ禍の中、医療従事者のストレスもかなりたまってきています。ストレス発散方法、モチベーションを保つ秘訣など紹介してほしいです。（愛知）
コロナ禍で会えないつらさに気付く。だから身近な人を大切に。話してみたらモチベーションが上がる人が隣にいました。（HT）
様々なSNSを利用し、組合

活動の情報発信をして、みんなの理解を得るなんて時代ですね。確かに映像や短文だと分かりやすいですが、「ちよつと覗いてみよう」という気持ちになります。組合活動は口で説明してもなかなか分かってくれないことが多いので今後は紹介してくれているSNSを見てもらい、参加してもらえようかなって思います。（三重）
今の若者はツイッターに載っていないニュースは読まないそうです。情報の発信もテクニックが必要になってきますね。キッカケ作り！ともに頑張りましょう☆（OK）

共済で「まさか」の備えを

病気・ケガによる後遺障害保障の手厚さが魅力です

医療・介護現場で働く仲間の「まさか」は様々です。思わぬ病気・ケガで療養生活になったり、後遺障害で身体にも暮らしにも負担が増えることがあります。
医労連共済以外にも「共済」は色々ありますが、後遺障害の保障は注目ポイントです。他共済では「病気・ケガ」を高度障害(1級～3級の一部)に限っている場合が多いようですが、後遺障害の給付の多くは「病気・ケガ」による5級～13級。給付対象の広い医労連共済なら、万が一の病気やケガにも備えられます。

医労連共済		他の共済
障害等級1級～14級	病気・ケガ	障害等級1級～3級の一部
障害等級1級～14級	交通事故	障害等級1級～14級
障害等級1級～14級	不慮の事故	障害等級1級～14級

「病気・ケガ」の3級の一部～14級も対象としているため、変形性股関節症による人工関節置換や人工透析、子宮卵巣の摘出、胆嚢摘出なども給付があります。この部分が対象外だったり、交通事故・不慮の事故に限ると給付対象は大きく減ります。

全厚労HPはこちら！

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。

読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。投稿ページをリニューアルしました。引き続き投稿お待ちしております。

教宣部のつぶやき
昨年から続く新型コロナの影響。世の中の状況も大変ですが、常にマスクをしていいるおかげなのか、その間全く風邪をひきませんでした。出かけられないうえに、ストレスはありますが、家で過ごす時間が増え、良かった面も多少はあります。でも職場は大変だし、やっぱり早く治療ができて、日常を取り戻したい。なかなか集まれない。忘年会や飲み会、歓迎会、早くみんなが集まればいいな。クソッ！コロナのせいだー!!（KU）

当選者（読者の声掲載者含む）15名様に図書（クオ）カードを差し上げます
答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。5月号の答えは「センキョケン」で、当選倍率は3・2倍（クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選）でした。

ザクロスワード

出題▶モロゾミ勝

1	2		3	4	5	6
					F	
7			8	9		
10		11		12		
A					C	
	13		14			15
16			17		18	
		19			E	21
22	23			24		25
26				27		
		B				

答 A B C D E F

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

■タテのカギ
1 生産量1位は熊本県
2 度胸試しともいいます
3 仏語で「小さい」
4 ものおじせすに立ち向かう気力
5 魚市場を指すことも
6 血や肉になる栄養素。
……質
功績があること
野暮ではあきません
砂糖です
この日から秋!?
足を運んだかいない
ハワイで歓迎といえ
自分一人の力
背が一番高い陸生動物
長さ。……がつまる
よっぱらいのこと

■ヨコのカギ
1 片足で2歩ずつ交互に進みます
4 夏の和服といえば
7 大混雑を野菜にたとえて、……を洗うような
8 震度4の以前の言い方
10 大きすぎますね。……評価
12 太公望が見つめます
13 タコスの国といえば
15 地球面積の約30%
16 身勝手。……がいい
17 甲乙と同じ意味です
19 ……像、……自賛
20 自覚する心の動き
22 競技する人です
25 ラッパ形の花が咲く
26 ……まき直して再出発
27 積乱雲のことです

福島



北海道



新潟



秋田



長野



茨城



岐阜



静岡



愛知



広島



三重



富山



香川



熊総



大分



高知



徳島



繋がる☆三 平和への想い!!

今年、コロナ禍でもできる平和の取り組みとして21年1月からスタートした全厚労ピースウェーブ。フラッグリレーでは全厚労4ブロックに「なくそう核兵器」フラッグを送付し繋いで頂きました。感染症対策で様々な活動に行動制限がかかる中、各ブロックのご奮闘で、17県113枚もの写真が集まりました。「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の取り組みでは、1880筆が集まり、折り鶴奉納の取り組みは、7千羽以上集まりました（7月19日現在）。今後本部でタペストリーを作成し、広厚労に送付して奉納していただく予定となっています。

平和について考える時間に

今年の8月6日に全厚労平和委員会主催の**オンライン平和ツアーを開催します。**昨年はピースセミナーを開催し、医療労働者の平和活動の意義を改めて学習しました（詳細はQR参照：全厚労ニュース20年3月号2面）。今年は、コロナ禍で行動制限がかかる中、現地ツアーのように被爆地を訪れたような体験をしていただきたいとの思いから、オンラインツアーを開催します。ツアーはNPO法人PCVへ依頼し、オンラインだからこそできる企画を準備しお待ちしております。是非ご参加ください。

昨年の平和学習(2面)

